

ハウス食品グループ本社株式会社東京本社 〒102-8560 東京都千代田区紀尾井町 6-3
大阪本社 〒577-8520 大阪府東大阪市御厨栄町 1-5-7

2015年3月30日

**「ピサクロン」を含む秋ウコンエキスの二日酔い改善作用を臨床試験で確認
—3月28日に「日本農芸化学会 2015 年度大会」にて発表—**

ハウスウェルネスフーズは、「ピサクロン」を含む秋ウコンエキスの二日酔い改善作用を臨床試験で確認しました。この研究成果を、2015年3月26日から29日まで岡山大学（岡山市北区）で開催された「日本農芸化学会 2015 年度大会」で発表しました。

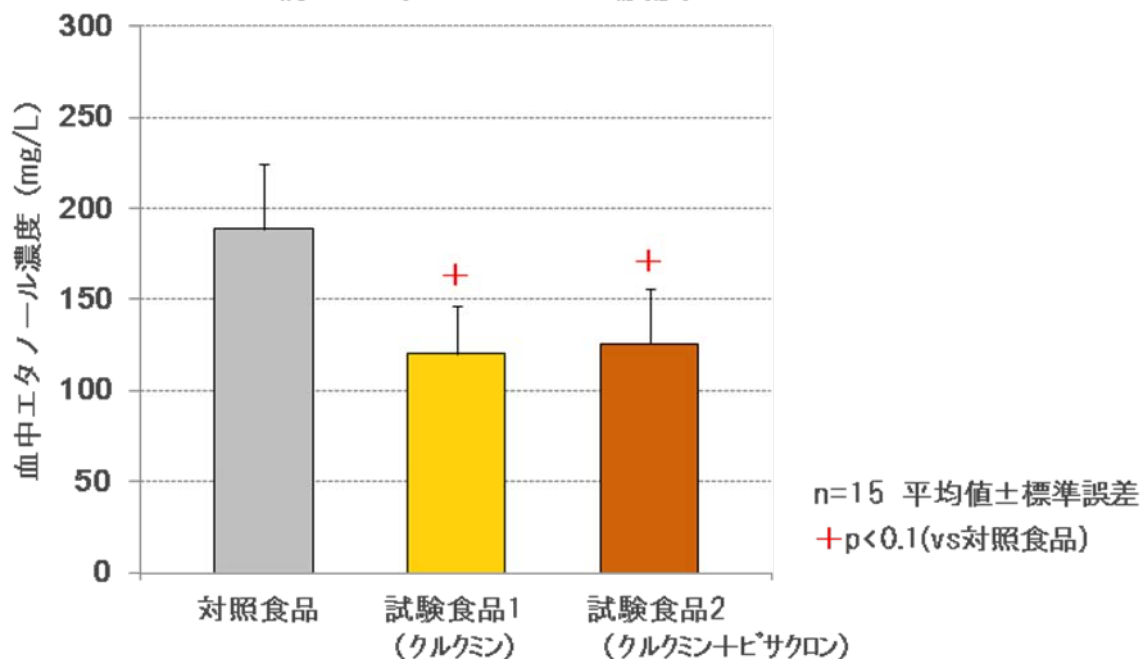
ハウス食品グループではこれまでに細胞等を用いたモデル試験を行い、「ピサクロン」を含む秋ウコンエキスに二日酔い改善につながる機能があることを報告してきました。本研究では、健常成人男性を対象にピサクロンを含む秋ウコンエキスが二日酔いに及ぼす影響を検討しました。

アルコールパッチテストを行い、お酒が強いと推定された30歳以上49歳以下の健常成人男性を3つのグループに分け、対照食品、試験食品1（クルクミン）、試験食品2（クルクミン+ピサクロン）のいずれかを摂取してもらいました。その後、一定量のお酒（エタノール量として体重1kg当たり1.5g）を飲料水とともに2時間で摂取してもらい、経時的に自覚症状と血中エタノール濃度の測定を行いました。試験は休止期をはさんで3期に分けて行い、被験者全員が3つの食品の効果を確認しました。

翌朝の血中エタノール濃度は、試験食品1（クルクミン）または試験食品2（クルクミン+ピサクロン）を摂取すると、対照食品よりも低い傾向が認められました。翌朝の二日酔いの自覚症状は、試験食品2（クルクミン+ピサクロン）を摂取すると、対照食品よりも良好だった人数が有意に多いことが認められました。

以上より、クルクミンを摂取すると翌朝の血中エタノール濃度が低下し、さらに、ピサクロンを含む秋ウコンエキスを同時に摂取すると二日酔いの自覚症状が効果的に改善することが示されました。

翌朝の血中エタノール濃度



翌朝の自覚症状

